

駿東伊豆消防組合 議会だより

NO.5 平成29年9月発行

駿東伊豆消防組合議会 定例会が開催されました。

平成29年第2回駿東伊豆消防組合議会定例会議事日程

平成29年8月21日（月曜日）午後2時 開会

- 第 1 議席の指定
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 議長の選挙
- 第 5 会期の決定
- 第 6 報第 1号 専決処分の報告について（交通事故損害賠償額の決定）
- 第 7 報第 2号 専決処分の報告について（交通事故損害賠償額の決定）
- 第 8 認第 1号 専決処分の報告及びその承認について（静岡州市町総合事務組規約の一部変更の同意）
- 第 9 認第 2号 平成28年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算の認定について
- 第10 議第 7号 駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 第11 議第 8号 平成29年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第1回）について
- 第12 認第 3号 監査委員の選任（組合議員）について
- 第13 消防行政に対する一般質問
- 第14 議会運営委員会の閉会中の継続調査



< 議案一覧 >

< 駿東伊豆消防組合管理者提出議案 >

議案名	内 容	議決結果
報第1号 専決処分の報告について （交通事故損害賠償額の決定）	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、損害賠償の額について、専決処分したので、報告するものです。	報告
報第2号 専決処分の報告について （交通事故損害賠償額の決定）	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、損害賠償の額について、専決処分したので、報告するものです。	報告
認第1号 専決処分の報告及びその承認について（静岡州市町総合事務組規約の一部変更の同意）	本案は、地方自治法第179条第1項の規定により、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めため、静岡州市町総合事務組規約の変更について、本年2月16日付けで専決処分したので、報告し、承認を得るものです。	承認
認第2号 平成28年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算の認定について	本案は、地方自治法第233条第3項の規定により、平成28年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算について、監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものです。	認定
議第7号 駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	本改正は、人事院規則の一部改正に関する規則の施行に伴い、育児休業等に関する条例について改正するものです。	可決

議案名	内容	議決結果
議第8号 平成29年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第1回）について	本補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,871万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ58億9,019万5,000円とするものです。	可決
認第3号 監査委員の選任（組合議員）について	本案は、本組合議会の議員から選任されている監査委員の任期満了に伴い、伊豆の国市の二藤武司議員を後任者として、選任するものです。	同意

< 一般質問 >

山田直志議員が問う！



問

平成二八年中の救急出動について

① 到着までに二〇分以上掛かった件数とその市町分布について伺いたい。

答

警防救急課長

平成二八年中の救急出動についてお答えします。

現場到着までに二〇分以上かかった件数とその市町分布であります。管内全体では出動件数二万二千百八十八件のうち七百七十七件で全体の三・五％であります。

市町別の出動件数につきましては、沼津市は九千三百三〇件のうち八〇件で〇・九％、清水町は一千三百五五件のうち三件で〇・二％、函南町は一千六百二〇件のうち百二十五件で七・七％、伊豆の国市は、二千五百二十七件のうち七三件で二・九％、伊豆市は一千八百四十七件のうち二百八〇件で一五・二％、伊東市は四千五百九八件のうち百五十三件で三・三％、東伊豆町は八百九四件のうち五五件で六・二％でありました。また、その他高速道路など管外への出動は一七件中八件の四七・一％でありました。

② 入電から病院着に四〇分以上かかった件数とその市町分布について伺いたい。

答

警防救急課長

管内全体では、出動件数二万二千百八十八件のうち八千七百五十四件で全体の三九・五％であります。

市町別の出動件数につきましては、沼津市は九千三百三〇件のうち三千二百五十六件で三四・九％、清水町は一千三百五五件のうち三百一十二件で二三・〇％、函南町は一千六百二〇件のうち八百六〇件で五三・一％、伊豆の国市は二千五百二十七件のうち一千三七件で四一・〇％、伊豆市は一千八百四十七件のうち一千百八十二件で六四・〇％、伊東市は四千五百九八件のうち一千五百七十九件で三四・三％、東伊豆町は八百九四件のうち五百二〇件で五八・二％でありました。また、その他高速道路など管外への出動は一七件中八件の四七・一％でありました。

③旧消防本部ごとの出動件数とその内従来の地域を越える地域への出動状況について伺いたい。

答 警防救急課長

旧沼津市消防本部は九千一件のうち二百九十五件、旧清水町消防本部は一千九百二十五件のうち六百四十七件、旧田方消防本部は五千六百八十九件のうち八四四件、旧伊東市消防本部は四千七百一十七件のうち百七十五件、旧東伊豆町消防本部は八百五十六件のうち四〇件でありました。

④構成市町の出動の増減と特徴をどう見ているのか伺いたい。

答 警防救急課長

構成市町の前年比の増減では、沼津市は五五件の増、清水町は二三件の減、函南町は一四件の減、伊豆の国市は四七件の減、伊豆市は二四件の増、伊東市は百二十九件の増、東伊豆町は七件の減、その他が二件の増で、全体としては百一九件の増となっております。特徴としては、管内の人口が減少傾向にあるにもかかわらず、救急件数は増加傾向にあることが挙げられます。

また、平成二七年の消防白書では、全国で救急搬送された者のうち六五歳以上の高齢者の割合が五六・七％であるのに対し、管内で搬送された者の高齢者の割合は六二・五％と五・八ポイントも高くなっております。

このことから、ある一定期間は人口減に対する救急需要は減少することなく、今後、高齢化の進展に伴い、更に高齢者の割合が増加するものと考えております。



新議長に植松恭一さん



議長
植松 恭一

平成二九年第二回駿東伊豆消防組合議会定例会において、沼津市選出の植松恭一議員が選任されました。

新監査委員に二藤武司さん



監査委員
二藤 武司

平成二九年第二回駿東伊豆消防組合議会定例会において、組合議会議員から選出の監査委員として、伊豆の国市選出の二藤武司さんを選任することについて議会で同意しました。